

物質循環学特別講義

Special Lecture on Environmental and Resource Sciences

主たる対象学生	資源循環学専攻・博士前期課程・1年次
必修・選択の別	選択必修
単位	1
開講学期	前期
担当教員(所属)	溝口勝(東京大学農学生命科学研究科)
同上氏名アルファベット表記	○MIZOGUCHI Masaru

キーワード	環境問題, 物質循環, 研究開発, 研究哲学, コミュニケーション
授業概要	地球規模の環境問題から地域レベルの環境問題まで、物質循環をキーワードにして考える。また、京都議定書に関連した地球温暖化防止対策等に対する政府レベルの環境研究の新しい推進システムについて紹介するとともに、社会における研究のあり方について議論する。
到達目標	環境問題をテーマに、大学院生として自分の研究を位置づけることのできる能力を身につけさせる。また、自分の意見を与えられた時間内で正確に述べ、質問にも明確に答えられる能力を身につけさせる。
授業計画	環境問題とは？ - 環境分野における新しい研究開発システム 地球規模の環境問題 - 気候変動と水循環変動 地域レベルの環境問題 - 自然共生と生物多様性 身近な環境問題 - ゴミゼロ循環型社会の形成と化学物質リスク管理 コミュニケーションスキル - 学会発表のノウハウ 社会における環境研究のあり方(意見発表と討論) - その1 社会における環境研究のあり方(意見発表と討論) - その2
受講要件	特になし
関連科目	
テキスト	特になし(資料配布およびホームページURL指定)
成績評価	授業最終時期に意見発表会を開催し、プレゼン(準備;40%, 発表態度30%)および質疑応答の内容(30%)を総合的に評価する。具体的な評価方法は授業中に案内する。
オフィスアワー・コンタクトタイム	
改善対応	授業の感想をレポートで提出してもらい、適宜改善する予定。
その他	専門にとらわれない自由な発想を持った学生の履修を希望する。

物質循環学特別講義

Special Lecture on Environmental and Resource Sciences